

# 平成28年度の主な事業を紹介します

## 1. 人と自然が共生する 「しぜん感動・創造都市」



**立地適正化計画の策定** 1,015万円  
市の拠点区域を設定し、居住機能と福祉・医療・商業などの都市機能を効果的に誘導するための計画を策定します。

**井戸頭団地改修事業** 1億8,859万円  
老朽化してきている井戸頭団地について、長寿命化を図るため、大規模な改修工事を実施します。

## 2. 豊かな心をはぐくむ 「こころ感動・創造都市」



**北里大学50周年記念事業** 350万円  
**学校運営協議会制度の導入** 46万円  
学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育を実現させるため、保護者や地域住民などから構成され、学校運営に関して一定の権限と責任を有する合議制の機関である学校運営協議会を市内3小中学校に導入します。

**学校施設非構造部材耐震改修事業** 715万円  
学校施設の屋内運動場に、照明器具などの附属設備の落下防止対策を施し、児童生徒と災害時の避難施設の安全性を確保するための耐震化改修工事の実施設計を行います。

**三本木中学校建設事業** 7,977万円

## 地方創生に向けた取り組み

### 地域における安定した雇用を創出する



**農業用機械等導入支援事業** 2,256万円  
**創業支援事業** 1,222万円  
創業支援に関するワンストップ窓口の設置、セミナーの開催、空き店舗改修の補助などを実施します。

**インバウンド対策事業** 661万円  
県主催の海外キャラバンへの同行、十和田湖観光交流センターへの外国語対応職員の雇用、観光案内ロボットなどの導入を実施します。

### 地域への新しいひとの流れをつくる



**住宅取得・改修補助事業** 3,050万円  
定住自立圏域外からの転入者の住宅取得・改修費の一部を補助します。

**お試し移住推進事業** 1,210万円  
移住セミナーの開催、移住お試し住宅の整備、移住お試しツアーなどを実施し、移住の促進を図ります。

## 3. 安心・安全を支える 「くらし感動・創造都市」



**防犯灯・街路灯省エネルギー化事業** 204万円  
**消費生活センター運営事業** 607万円

## 4. にぎわいと活力あふれる 「しごと感動・創造都市」



**十和田八幡平国立公園十和田八甲田地域指定80周年記念事業** 1,604万円  
国立公園の指定を受けてから80年という節目の年に、各種記念事業を実施し、集客促進と情報発信強化を図ります。

**十和田バラ焼きゼミナール補助金** 100万円

## 5. いきいきと活躍できる 「しみん感動・創造都市」



**ふるさと納税制度の拡充** 575万円  
**新庁舎建設事業（実施設計など）** 2億1,748万円  
老朽化している市庁舎本館と十和田湖支所庁舎（議会棟を含む）を統合整備し、防災拠点としての機能を強化するとともに、市民サービスの向上と執務環境の改善を図るため、新庁舎を建設します。

### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



**結婚支援事業補助** 200万円  
結婚支援事業を実施する民間団体などに、事業費の一部を補助します。

**同窓会開催補助** 200万円

**子ども医療費の助成拡大** 7,658万円  
中学生までの子どもの通院・入院医療費を無料化し、子どもを産み育てやすい環境を整備します。

**放課後児童クラブ（仲よし会）の充実** 1,771万円  
高清水小・洞内小・四和小への仲よし会の新設および土曜日・長期休業日の仲よし会の開設時間を延長し、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。

### 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する



**健康長寿応援事業** 851万円  
**とわだ生涯現役プロジェクト** 115万円  
**新たなコミュニティづくり事業** 299万円  
おおむね小学校区を単位とする新たなコミュニティづくりを推進するため、組織の立ち上げを支援します。また、まちづくりに必要な人材を育成するため、講座を開催します。

平成28年度の一般会計当初予算は、前年度予算に比べて7千万円減り、290億円となりました。

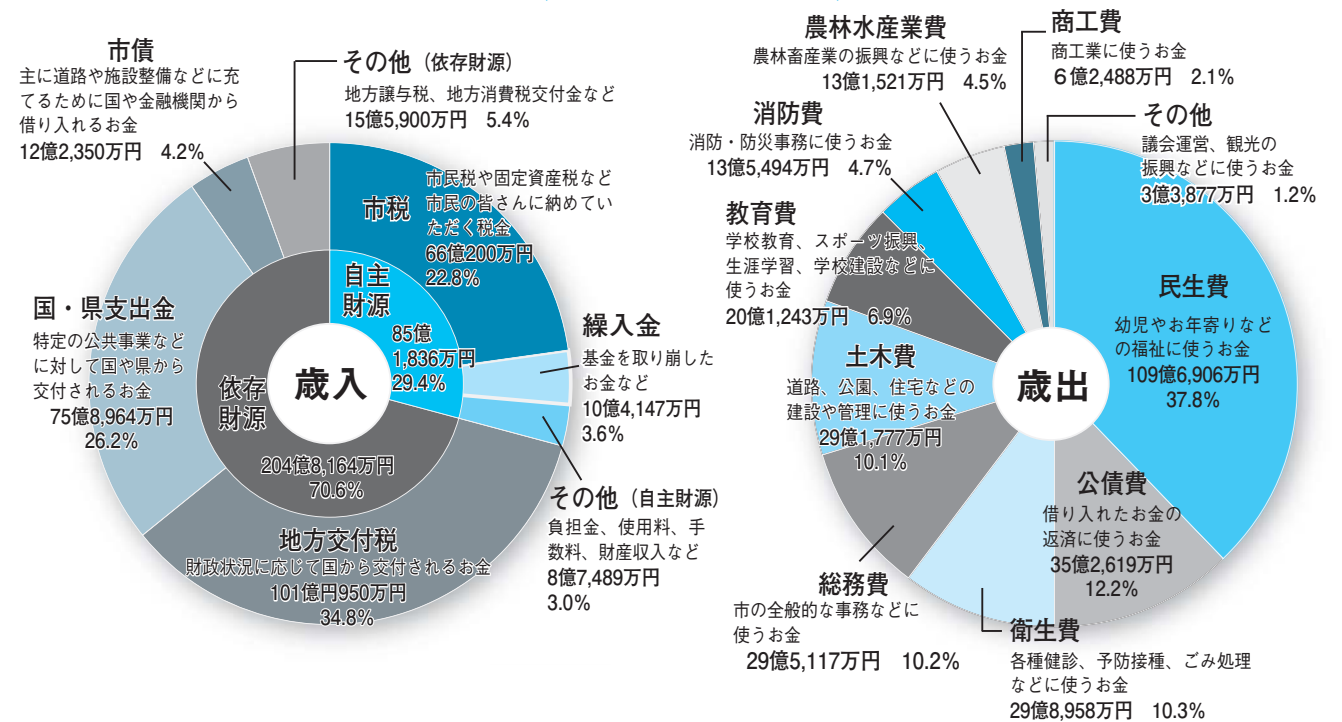
当初予算の編成にあたっては、「第1次十和田市総合計画」に掲げるまちづくりの目標の実現に向け、事務事業の重点化、効率化を図り、「基金に頼らない財政運営」を基本とし、地方創生につながる効果的な取り組みを推し進めながら、特別会計や企業会計も含めた連結ベースでの健全財政を維持するものとなっています。

**歳入**  
市税は、前年度比2.5%増の66億200万円を見込んでおり、地方交付税は、同比0.5%減の101億950万円を見込んでいます。また、市債については、同比7.0%減の12億2350万円を見込んでいます。

**歳出**  
新市庁舎建設事業等の実施に伴い、総務費で11.0%増の29億5117万円を見込んでいます。また、民生費については、子ども・子育て支援における国の制度拡充による保育に係る給付費の増に伴い、3.3%増の109億6906万円を見込んでいます。

政策課 財政係 ☎6713

■一般会計当初予算290億円の内訳（1万円未満は四捨五入）

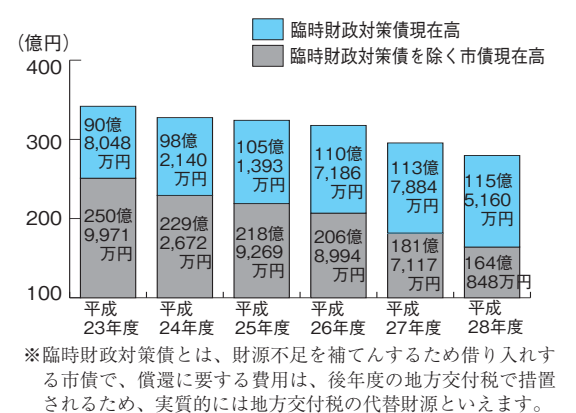


■各会計予算の前年度比較・各会計への繰出金の状況

会計名	予算額	前年度との比較	増減率	一般会計からの繰出金
<b>一般会計</b>	290億円	△7千万円	△0.2%	-
<b>特別会計</b>				
国民健康保険事業	81億8,993万円	△9,475万円	△1.1%	8億487万円
後期高齢者医療	5億4,725万円	△3,075万円	△5.3%	1億9,495万円
介護保険事業	66億1,836万円	△8,912万円	△1.3%	9億7,664万円
温泉事業	2,963万円	360万円	13.8%	-
<b>企業会計</b>				
水道事業	34億5,527万円	2億1,120万円	6.5%	1億4,940万円
下水道事業	50億8,866万円	1億3,661万円	2.8%	12億7,928万円
病院事業	102億2,873万円	△1億3,754万円	△1.3%	13億1,073万円

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

■一般会計当初予算での年度別市債残高見込み額の推移



### 用語解説

**一般会計**…教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。

**特別会計**…特定の事業を行う場合や保険料など特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。

**企業会計**…企業的人格をもった事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。

**自主財源**…市税、分担金及び負担金、使用料および手数料など市が自主的に確保できる収入です。

**依存財源**…地方交付税、国庫支出金、県支出金など国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりする収入です。